



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9063 URL <https://www.okaken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 和充  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 馬屋原 章 TEL 086-252-2111  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	29,589	0.4	989	1.6	1,163	0.8	852	12.1
2021年3月期第3四半期	29,476	△8.8	974	△26.8	1,154	△26.7	760	△28.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 816百万円 (0.4%) 2021年3月期第3四半期 813百万円 (△24.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	420.65	—
2021年3月期第3四半期	375.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	42,974	18,762	43.6	9,241.76
2021年3月期	42,180	18,091	42.8	8,909.25

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 18,733百万円 2021年3月期 18,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,700	0.5	1,560	17.9	1,740	12.1	1,220	11.0	601.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,200,000株	2021年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	172,930株	2021年3月期	172,667株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	2,027,229株	2021年3月期3Q	2,027,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスワクチン接種が進み新規感染者数も大幅に減少し、10月に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、経済・社会生活は緩やかに回復に向かいつつありましたが、半導体不足による各産業への影響や原油をはじめとする資源価格の高騰等に加え、感染力の強いオミクロン株が国内でも急激に拡大し再び各地にまん延防止等重点措置が発出されるなど、国内景気の見通しは依然として先行き不透明な状態となっております。

物流業界におきましても、国内総輸送量は小幅ながら増加したものの秋以降は弱さが見られ、さらには燃料価格の高騰による大幅な経費の増加など、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと、当社グループでは、2021年の会社目標である「変化への対応と輸送の効率化」のもとに、徹底した輸送品質の向上への取り組み、あらゆる無駄の排除と効率化を進め、適正運賃・諸料金（付帯作業料等）の収受を継続的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は295億8千9百万円（前年同四半期比0.4%増）となり、営業利益は9億8千9百万円（前年同四半期比1.6%増）、経常利益は11億6千3百万円（前年同四半期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億5千2百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### ① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、貨物取扱量が前年同四半期に比べやや回復しましたが、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、営業収益は282億8千1百万円（前年同四半期比0.3%減）となり、営業利益は8億7千2百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

#### ② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売価格の上昇等により、営業収益は7億2千9百万円（前年同四半期比30.3%増）となり、仕入価格の上昇等により、営業損失は3百万円（前年同四半期は5百万円の営業損失）となりました。

#### ③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は5億7千7百万円（前年同四半期比5.3%増）となり、営業利益は1億4百万円（前年同四半期比49.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は429億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千3百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加等により流動資産が6億8千9百万円増加し、建物及び構築物（純額）の増加及び建設仮勘定の減少等により固定資産が1億3百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、242億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千1百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加等により流動負債が32億8千8百万円増加し、長期借入金の減少等により固定負債が31億6千7百万円減少したことによるものであります。なお、短期借入金の増加及び長期借入金の減少はシンジケートローンの返済期日が1年未満となったことにより流動負債への振替によるものであります。

純資産につきましては、187億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7千1百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症第6波の拡大に伴い、国内各地にまん延防止等重点措置が発出されるなど未だ収束時期は見通せず、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況下、当社グループでは、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、お客様と従業員の安全を最優先に考え、さらなる輸送品質の向上を図り、お客様に満足していただける輸送品質で、信頼され選ばれる会社を目指す所存であります。

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月7日公表時からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,401,765	6,939,610
受取手形及び営業未収入金	6,564,252	6,604,943
棚卸資産	114,950	134,490
その他	351,874	443,539
貸倒引当金	△2,633	△2,745
流動資産合計	13,430,210	14,119,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,763,056	7,515,700
車両運搬具(純額)	1,434,551	1,528,104
土地	15,336,005	15,317,237
その他(純額)	1,076,179	512,839
有形固定資産合計	24,609,793	24,873,881
無形固定資産	589,577	577,606
投資その他の資産		
投資有価証券	3,019,891	2,992,985
その他	547,189	425,446
貸倒引当金	△15,674	△15,525
投資その他の資産合計	3,551,406	3,402,907
固定資産合計	28,750,777	28,854,395
資産合計	42,180,988	42,974,233
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,804,146	3,062,317
短期借入金	6,009,994	8,927,478
未払法人税等	470,272	65,627
賞与引当金	261,820	5,790
その他	2,459,797	3,233,604
流動負債合計	12,006,031	15,294,816
固定負債		
長期借入金	8,203,253	5,189,057
役員退職慰労引当金	122,244	91,889
退職給付に係る負債	3,397,087	3,334,989
資産除去債務	107,830	109,008
その他	253,356	191,619
固定負債合計	12,083,771	8,916,563
負債合計	24,089,802	24,211,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,770,388	1,770,388
利益剰余金	13,591,473	14,302,331
自己株式	△294,219	△294,997
株主資本合計	17,488,242	18,198,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,527	492,605
退職給付に係る調整累計額	32,266	42,781
その他の包括利益累計額合計	573,794	535,386
非支配株主持分	29,149	29,144
純資産合計	18,091,186	18,762,853
負債純資産合計	42,180,988	42,974,233

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業収益	29,476,477	29,589,031
営業原価	27,188,278	27,253,360
営業総利益	2,288,198	2,335,670
販売費及び一般管理費	1,314,132	1,345,673
営業利益	974,065	989,997
営業外収益		
受取利息	30	14
受取配当金	35,355	44,739
受取賃貸料	128,535	125,330
持分法による投資利益	51,546	58,341
その他	88,138	60,827
営業外収益合計	303,608	289,252
営業外費用		
支払利息	121,225	108,955
その他	2,249	7,152
営業外費用合計	123,475	116,108
経常利益	1,154,198	1,163,141
特別利益		
固定資産売却益	40,476	133,723
特別利益合計	40,476	133,723
特別損失		
固定資産売却損	9,810	93
特別損失合計	9,810	93
税金等調整前四半期純利益	1,184,864	1,296,771
法人税、住民税及び事業税	349,833	303,887
法人税等調整額	71,697	137,805
法人税等合計	421,530	441,692
四半期純利益	763,333	855,078
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,685	2,307
親会社株主に帰属する四半期純利益	760,647	852,771

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	763,333	855,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,935	△48,922
退職給付に係る調整額	△29,728	10,514
その他の包括利益合計	50,206	△38,407
四半期包括利益	813,540	816,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810,854	814,363
非支配株主に係る四半期包括利益	2,685	2,307

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、貨物運送収入は、従来、当社グループの各事業所において荷主より貨物運送を受託し発送した日を基準として収益を計上していましたが、一定の期間に渡り収益を認識する処理に変更いたしました。また、一部の取引について、従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から第三者のために回収する金額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を正確に予測することは困難であります。

当社グループにおいては、感染症の影響が2022年3月期を通じて継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失等の会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、感染症の影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。なお、この仮定については前連結会計年度末から重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	28,368,041	560,360	28,928,401	548,075	29,476,477	—	29,476,477
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	20,914	1,343,169	1,364,084	840,899	2,204,983	△2,204,983	—
計	28,388,956	1,903,530	30,292,486	1,388,974	31,681,461	△2,204,983	29,476,477
セグメント利益 又は損失(△)	892,436	△5,091	887,344	69,954	957,299	16,766	974,065

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額16,766千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	28,281,792	729,891	29,011,683	577,347	29,589,031	—	29,589,031
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	20,132	1,805,242	1,825,375	827,349	2,652,724	△2,652,724	—
計	28,301,924	2,535,133	30,837,058	1,404,697	32,241,755	△2,652,724	29,589,031
セグメント利益 又は損失(△)	872,362	△3,790	868,571	104,663	973,235	16,761	989,997

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額16,761千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。